

2024年度  
約8900万円

# 市立病院 5年ぶり赤字

## 収益の伸び上回る 事業費用

●入院増加  
内科3847人・呼吸器外科1110人  
●外来減少  
選定療養費7000円・皮膚科で影響大

飯塚市立病院（地域医療支援病院）が、2024年度赤字になることが19日、市立病院管理運営協議会に報告されました。5年ぶりで赤字幅は約8900万円（純損失）です。

事業収益増を事業費用が上回り、コロナ対策補助金にも頼れない状況（5類移行のため）です。

入院患者増加（病床利用率77・3%）の一方、外来患者減少は選定療養費変更（1650円から7000円）の影響があり、皮膚科等で顕著です。

救急車受入は3079件、患者紹介4757件と増加傾向です。小児科休日夜間診療の開始もあります。事業費用増の主な要因は材料費、給与、給与、給与（興協会）

科医師会、薬剤師会、消防本部から16人が出席しました（市条例で規定）。定例会合は年間2回です。

### 運営協議会傍聴

市立病院管理運営協議会を傍聴しました。市役所、市立病院、医師会、歯



日本共産党飯塚市議  
川上直喜

日本共産党は、地域住民、医療労働者、専門性のある弁護士をメンバーに加えるよう提案しています。

### 患者さんの声

提出資料から抜粋



- 股関節手術 不安な毎日でしたが、先生を固定しておいてほしい。切に願いたいです。
- 両替機 コインランドリー、ジュースBOX、「レカード」があるのに設置されていません。
- リウマチ 専門の先生を固定しておいてほしい。切に願いたいです。
- 入院食 数少ない楽しみの一つです。2週間4回同じ食材、味付けでは。

### 飯塚市立病院経営強化プラン実施状況 点検・評価報告（令和6年度）

- 責任と安定
  - ・地域医療支援病院として地域の医療圏の中核的な機能を一層発揮するため責任ある病院運営
  - ・コロナウイルス感染症の5類移行後の安定した病院経営
- 病院運営
  - ・重点（医療スタッフの確保・育成、地域医療機関との連携強化）
  - ・堅調に推移（延べ入院患者数7万580人、病床利用率77・3%）
  - ・医療サービスの充実（小児科休日夜間診療、救急車搬送・患者紹介の件数増）
- 病院経営
  - ・やや悪化
  - ・事業収益の増（患者受入等の取り組み）
  - ・それを上回る事業費用の計上（給与費の伸び、設備費の増加、水道光熱費の経費上昇）
- 令和6年度への期待
  - ・公立病院が全国的に厳しい状況のもとで一定の成果
  - ・患者増に向けた診療体制の構築
  - ・人員配置の適正化・一層の経費削減など課題解消

### 令和6年度病院運営と病院経営の総評要約

### 川上なおき 活動日誌 8月14日-20日

- 14日Thu 県道用地の不適切買収チェック（部落解放同盟県連副委員長関連事案）
- 15日Fri 正午・市議会棟にて黙祷（日本の侵略戦争と植民地支配の終結から80年）
- 16日Sat 市政報告（6月24日市議会決議）
- 17日Sun 未来社会論（科学的社会主義講座）
- 18日Mon 小竹町立病院調査
- 19日Tue 核兵器禁止条約参加を訴え（19日行動・イオン穂波店付近交差点）市立病院管理運営協議会（傍聴）
- 20日Wed 活動レポート制作



一般2500円  
学生1500円

歳月の旋律  
二胡コンサート  
●9月7日（日）  
●イヅカコスモスコモン  
●13時開場・13時半開演  
劉福君 親子